

がんチームのリハビリテーションについて

当院のがん患者におけるリハビリテーション

当院は大阪府指定がん診療拠点病院として、様々な疾患におけるがん患者の受け入れています。がん治療には、化学療法・放射線療法・手術療法・造血幹細胞移植そして緩和療法などが選択され、患者や家族の意向に合わせた治療を提供しています。その治療内容に合わせたリスク管理を行いながらリハビリテーションを行っています。多くの職種と連携が必要であり、定期的にカンファレンスを行い情報共有に努めています。

がん患者のリハビリテーション依頼数は増加しています

- がん患者のリハビリ依頼数は年々増加しており、がん患者に対する院内のリハビリテーションの需要とその役割の重要性が高まっています（図1）。
- それに伴いがんのリハビリテーション研修を受講するスタッフを増加させ、がん患者のリハビリテーションを提供できる環境を作っています（図2）。

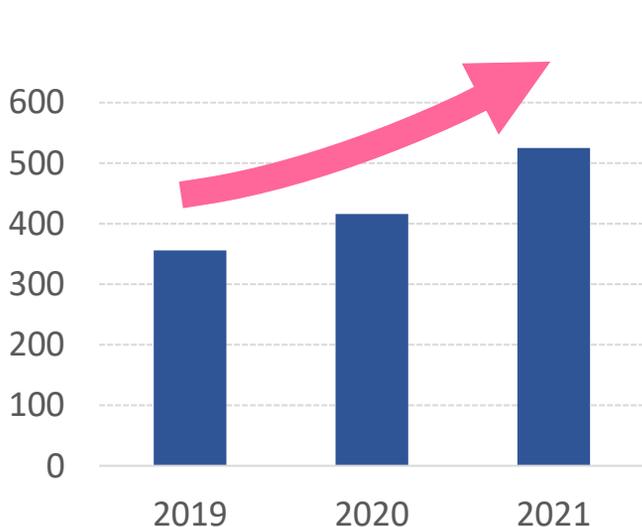


図1 がんリハ算定患者の処方数

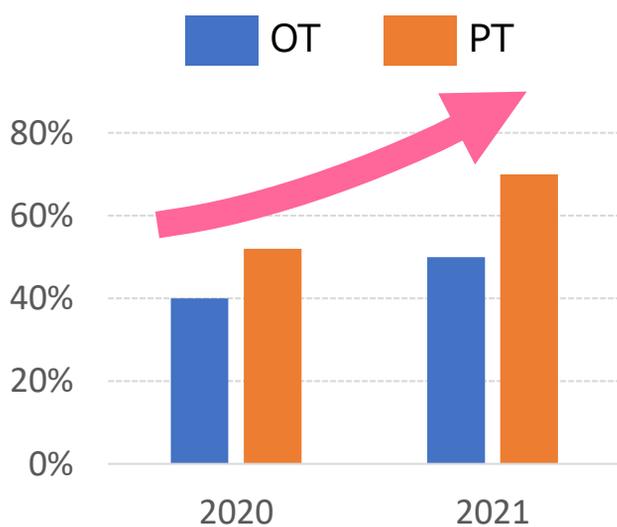


図2 がんリハ研修取得スタッフ数



多職種連携

- 外科・消化器病棟と血液内科病棟で週1回カンファレンスに参加しています。
- その他, リハ科部長回診やPST, NST, 認知症回診など必要な患者に対して適宜カンファレンスを行い, 多職種連携を図っています。



8階海側病棟



8階山側病棟

リハビリテーションの実際

- 術後の早期離床から廃用症候群の予防, 緩和領域における介入まで, 幅広い疾患を対象に介入しています。
- 造血幹細胞移植後の患者には, 無菌室 (クリーンルーム) で感染対策を講じたリハビリテーションを行っています。
- がんチームとして, PTとOTが定期的に集まり意見交換をしています。



無菌室 (クリーンルーム) でのリハビリ



がんチームでの情報共有

